

平成26年度 宇都宮市立城山中央小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

基本目標 「健康で、豊かな心をもち、たくましく生きる子どもの育成」を目指して、感性を磨き、社会的知性と実践力を身に付ける。

目指す児童像 ○進んで勉強する子ども（かしこく）

○思いやりのある子ども ○喜んで働く子ども（なかよく）

○健康で明るい子ども（たくましく）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

今年度のテーマ『 みんなが 楽しく 』 「地域が学校～地域に学び、地域とともに伸びる城山中央小学校」

<児童にとって> ○学ぶ楽しさ ○仲間がいる楽しさ ○学校の楽しさ のある学校

<保護者・地域にとって> ○通わせる楽しさ ○協力する楽しさ のある学校

<教師にとって> ○教え・導く楽しさ のある学校

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 城山中央小学校の歴史と伝統を踏まえ、長年にわたって築いた教育の精神や校風を継承し、その発展に努める。
- (2) ○学校経営の中核に児童の確かな学力の定着を位置づけ、基礎基本の確実な定着と課題解決に必要な資質能力を育てる。
- (3) ○規範意識や倫理観などの社会性を身に付け、豊かな心、たくましい体を持った子どもの育成に努める。
- (4) 家庭・地域社会との連携強化に努めるとともに、家庭・地域の教育力を生かした教育活動を充実し、地域に根ざして開かれた地域の学校づくりに努める。
- (5) 教育公務員としての使命を自覚し、和と協働の精神を大切に、専門職にふさわしい資質の向上を目指す。

【城山地域学校園教育ビジョン】 ともに学び合う城山っ子を育む地域学校園

【ビジョンの理念】人と関わり合うことを大切に、ともに向上しようという意識を高めながら、望ましい人間関係のもと、支え合いと活気のある集団の中で、様々な活動に主体的、意欲的に取り組む児童生徒を育てる教育を積極的に推進する。

【スローガン】なんでも全力、みんなでチャレンジ

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

学び合う楽しさ、豊かな心の育成を目指して、和と協働の学校運営を推進する

～みんなが楽しく、城山中央小学校～

【学 習 指 導】

適切に課題を設定し、自力で解決したり、友達と意見交換して考えを深めたりする能力の育成

【児 童 生 徒 指 導】

思いやりの心をもち、物事を正しく判断し、主体的な行動ができる児童の育成

～児童と児童、児童と教師のコミュニケーションをより深めることを通して～

【健康（保健安全・食育）・体力】

自分の体に関心をもち、進んで健康の保持増進と体力の向上に励む児童の育成

～教科体育や体育的行事の充実と、児童が体を動かしたくなる活動の推進～

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価								
学校運営の状況	A 1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケートの「私は、今の学校が好きです」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 適正な学校運営に努める。 ・創意と調和のある「子どもを生かす」教育の実践 ・学校評価を生かした保護者、地域と一体化した学校づくりの推進 ② 児童・保護者・教師・地域の想いを把握し、学校運営に生かす。 ・学校運営推進委員会の設置	B	A 1 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>93.6%↑</td></tr><tr><td>保護者</td><td>96.3%↑</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%→</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%→</td></tr></table> ・学校のよいところとして「まごころ広場がある」と答えた児童が大変多かった。「花と緑と小鳥の学校」のよさが児童にも浸透していると言える。 【次年度の方針】 ・次年度も、「みんなが楽しい」学校づくりのための主な具体的取り組みを継続していく。	児童	93.6%↑	保護者	96.3%↑	地域住民	100.0%→	教職員	100.0%→
	児童	93.6%↑										
	保護者	96.3%↑										
地域住民	100.0%→											
教職員	100.0%→											
A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 全体アンケートの「先生方は、大切なことをしっかり教え、熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 全体アンケートの「教職員は、協力し、教えるべきことを熱心に指導している」 ⇒保護者の肯定的回答 85%以上	① 教職員の資質と能力の向上に努める。 ・教育に対する理念、使命感、豊かな人間性、教育実践力、動向を察知した対応力等の向上 ・「報告・連絡・相談」の徹底 ・学年交換授業や教科担任制の推進 ・教師一人一人の授業力の向上	B	A 2 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>95.2%↓</td></tr><tr><td>保護者</td><td>90.3%↓</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%→</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%→</td></tr></table> ・一人一人の教員の個性や専門性を尊重し合い、相談やアドバイスをし合いながらお互いに協力して指導をすることができた。また、課題については全職員で共通理解し、解決の方向に向かい、それぞれの立場から対処していくことができた。 【次年度の方針】 ・学校の取り組みを具体的に発信していく。	児童	95.2%↓	保護者	90.3%↓	地域住民	100.0%→	教職員	100.0%→	
児童	95.2%↓											
保護者	90.3%↓											
地域住民	100.0%→											
教職員	100.0%→											
A 3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	① <u>基本的な生活習慣と規範意識の育成に努める。</u> ・生命や人権尊重を題材とした授業（道徳・学級活動等）の実施 ・「城央小のよい子」を活用した、統一的・継続的な指導 ② <u>家庭・地域、関係諸機関との連携</u>	B	A 3 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>82.0%↓</td></tr><tr><td>保護者</td><td>87.4%↓</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%↑</td></tr><tr><td>教職員</td><td>95.5%↑</td></tr></table> ・「城央小のよい子」は、教室に掲示して指導しながら意識化させたり、また生活目標は、どの学級も毎日帰りの会で振り返りをしたりしてきたが、きまりやマナーを守る児童の割合が年々減ってきている。 【次年度の方針】 ・「城央小のよい子」や生活目標を守れるよう指導を徹底し、基本的な生活習慣がさらに身に付けられるよう指導していく。 今後とも保護者との連携を深めていったり、学校の様子を伝えられる機会を増やしていったりする。	児童	82.0%↓	保護者	87.4%↓	地域住民	100.0%↑	教職員	95.5%↑	
児童	82.0%↓											
保護者	87.4%↓											
地域住民	100.0%↑											
教職員	95.5%↑											

A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】全体アンケートの「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 85%以上	① 学習指導の工夫・改善を図る。 ・ 計画的朝の学習の推進と見通しがつかめる授業の推進 ・ 指導技術の確立と授業時数の確保 ・ 習熟度別学習や少人数指導・TT指導等の効果的实施 ・ 学習内容定着度調査などの活用 ・ かがやきルームの有効活用及び指導体制の充実 ・ 授業力向上のための校内研修の充実 ②家庭・地域への広報活動の工夫	A 4 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>94. 4%↑</td></tr><tr><td>保護者</td><td>85. 7%↓</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100. 0%↑</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100. 0%→</td></tr></table> ・ 今年度は、算数を研究教科とし、計画的・組織的に研修を進めながら「共に学び合う児童」の育成に努めた。また、一人一授業の実践からも教師の学び合いができた。 【次年度の方針】 ・ 今後も分かる授業、きめ細やかな指導の充実を図るとともに、授業への取り組みや工夫点を各種たよりなどで、家庭にも伝えていく。	児童	94. 4%↑	保護者	85. 7%↓	地域住民	100. 0%↑	教職員	100. 0%→
児童	94. 4%↑									
保護者	85. 7%↓									
地域住民	100. 0%↑									
教職員	100. 0%→									
A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケートの「自分は、学校での生活や様々な活動が充実している」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	①「学校いじめ防止基本方針」に基づいた取り組みを推進する。 ・ 「いじめ等対策委員会」の活用 ・ 「いじめゼロ強調月間」の充実 ・ いじめ根絶集会の実施 ・ 定期的なアンケートの実施と教育相談の充実 ・ <u>あいさつ運動の実施等見守り体制の整備</u> ・ 潤いのある学校環境の整備（ふわふわ言葉の掲示等） ・ 「さん」付けの呼び方の徹底	A 5 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>95. 2%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>73. 0%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>90. 9%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100. 0%</td></tr></table> ・ 教職員はいじめに対する危機意識を常に持ち、教育相談を積極的に行ったり、思いやりの気持ちの育成や一人一人を大切にした指導に努めたりした。「学校いじめ防止基本方針」に基づいた取り組みも計画的に実施できた。 【次年度の方針】 ・ 今年度取り組んできたことを継続していき、保護者にも学校からのたよりなどを通して伝えられるようにしていく。	児童	95. 2%	保護者	73. 0%	地域住民	90. 9%	教職員	100. 0%
児童	95. 2%									
保護者	73. 0%									
地域住民	90. 9%									
教職員	100. 0%									
A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】 全体アンケートの「自分は、学校での生活や様々な活動が充実している」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① マネジメントサイクルを活用した特色ある教育課程の編成に努める。 ・ 「児童が生き生きと活動できたか」という視点からの学校行事等の反省・改善	A 6 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>95. 6%↑</td></tr><tr><td>保護者</td><td>96. 3%↓</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100. 0%→</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100. 0%→</td></tr></table> ・ 各種行事の事後には、必ず反省をし、成果と課題を明確にして次年度の計画に生かせるようにした。また、教育課程全般に関する教職員の評価をもとに検討委員会を開き、よりよい教育課程になるよう検討し、次年度への方向付けをした。 【次年度の方針】 ・ 今後も、学校行事などではアンケートを取るなどして課題の改善をしていく。	児童	95. 6%↑	保護者	96. 3%↓	地域住民	100. 0%→	教職員	100. 0%→
児童	95. 6%↑									
保護者	96. 3%↓									
地域住民	100. 0%→									
教職員	100. 0%→									

A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」 ⇒保護者の肯定的回答 90% ⇒地域住民の肯定的回答 90%	① 保護者や地域に信頼される学校づくりに努める。 ・開かれた学級、学校づくりの推進 ・うつのみやオープンスクール、授業参観、学校自由参観等の効果的な実施 ・学校便り、ホームページ、学年便りなどの充実による積極的な情報発信 ・保護者、<u>地域の方との積極的なコミュニケーション</u>	A 7 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td>95.7%↓</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%→</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%→</td></tr></table> ・開かれた学校づくりを目指し、各種たよりを定期・不定期に発行し、学校の様子を伝えた。また、ホームページからも定期的に情報を発信した。また、授業参観では、授業の内容を工夫しながら児童の学習への取り組みの様子を伝えた。 【次年度の方針】 ・現状どおり発信を続けていく。	児童		保護者	95.7%↓	地域住民	100.0%→	教職員	100.0%→
児童										
保護者	95.7%↓									
地域住民	100.0%→									
教職員	100.0%→									
A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、家庭、地域、企業等と連携・協力して教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒保護者の肯定的回答 90% ⇒地域住民の肯定的回答 80%	① 地域人材の協力や企業の専門性を生かした学習を推進する。 ・「町の先生」の年間指導計画への位置づけ ・各育成会や地域行事への積極的な参加 ・<u>小中一貫教育に関わる活動の計画的な実施</u> ・家庭・地域・企業等と連携した活動の広報活動の工夫・充実	A 8 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>94.8%↓</td></tr><tr><td>保護者</td><td>95.6%↑</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%↑</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%→</td></tr></table> ・教育課程表に位置付けられている「人材活用及び体験学習計画」に基づき、各学年とも地域人材や企業の協力を得て計画的に体験学習を実施することができた 【次年度の方針】 ・次年度も今年度に引き続き、「城央小 町の先生」地域人材の支援により効果的な学習を展開していく。保護者に参観してもらったり、学校だよりや学年だよりなどで知らせたりする。	児童	94.8%↓	保護者	95.6%↑	地域住民	100.0%↑	教職員	100.0%→
児童	94.8%↓									
保護者	95.6%↑									
地域住民	100.0%↑									
教職員	100.0%→									
A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、清掃がしっかり行われ、学習しやすい」 ⇒保護者の肯定的回答 90%	① まごころ広場や花壇、教材園を中心とした環境整備に努める。 ・日常の清掃活動やまごころ清掃（校内や公園・通学路等）の工夫改善と充実 ・児童と協働した環境整備の工夫 ・教室環境の見直しと改善 ② P T Aやボランティアの協力を得て、環境整備に努める。 ・トイレやオープンスペースの美化	A 9 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>87.6%↓</td></tr><tr><td>保護者</td><td>94.1%↓</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%→</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%→</td></tr></table> ・環境整備のなかでも今年度は特に、まごころ広場の枯死したアカマツの伐採や大掛かりな樹木の剪定など、児童が安全に活動できるよう整備をした。 【次年度の方針】 ・教室環境の整備を常に心がけ、持ち物への記名や整理整頓、また、個別指導などを徹底する。	児童	87.6%↓	保護者	94.1%↓	地域住民	100.0%→	教職員	100.0%→
児童	87.6%↓									
保護者	94.1%↓									
地域住民	100.0%→									
教職員	100.0%→									

教育活動の状況		B 1 教師は適切な家庭学習を提示し、家庭と協力して基礎学力の向上に努めている。 【数値指標】 全体アンケートの「自分は、毎日決められた時間、家庭で学習を進めている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 全体アンケートの「家庭では、毎日子どもの家庭学習の状況を把握している。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%	① <u>家庭と連携して、学習習慣の確立を図る。</u> ・「家庭学習のしかた」「自主学習のガイド」に基づいた、発達段階に応じた宿題や自主学習の工夫 ・「学習習慣定着強化週間」を年3回設定して、家庭と連携した指導に努める。 ・低学年「お話宿題」の推進による学校教育への関心の啓蒙									
	生活	A 10 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒児童の肯定的回答 90% ⇒保護者の肯定的回答 80% ⇒地域住民の肯定的回答 80%	① 児童の創意を生かした「あいさつ運動」を推進する。 ・家庭及び地域協議会と連携した<u>地域ぐるみの「あいさつ運動」の展開</u> ・小中合同の「あいさつ運動」の<u>推進</u> ・「あいさつ運動」の内容・方法の工夫・改善（いつでも、どこでも、だれにでも）	B 1 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>82.0%↓</td></tr><tr><td>保護者</td><td>65.8%↓</td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%→</td></tr></table> ・「ぐんぐん学習」プロジェクトチームから具体策を提示し、どの学級も継続して取り組むことができた。また、基礎学力の向上のために、各学級においても担任が児童の発達実態を踏まえた課題を提示して取り組めるよう努めてきた。 【次年度の方針】 ・今年度の取り組みを継続して、徹底を図る。	児童	82.0%↓	保護者	65.8%↓	地域住民		教職員	100.0%→
		児童	82.0%↓									
	保護者	65.8%↓										
地域住民												
教職員	100.0%→											
	A 11 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている」 ⇒保護者の肯定的回答 80% ⇒地域住民の肯定的回答 80%	① <u>基本的マナーと状況に応じた言葉づかいの励行</u>に努める。 ・時と場をとらえた指導の継続（訂正・賞賛） ・「職員室の入り方」等掲示物の作成と活用 ・「礼儀」についての道徳の授業の展開	A 10 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>90.8%↓</td></tr><tr><td>保護者</td><td>80.4%↑</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>91.7%↑</td></tr><tr><td>教職員</td><td>90.9%→</td></tr></table> ・あいさつ運動については、校内で毎週担当する学級を決めて継続的に取り組んだり、魅力協が主催して年2回地域ぐるみで行ったり、また小中合同で行ったりと積極的に推進することができた。 【次年度の方針】 ・学校でのあいさつ運動、小中連携のあいさつ運動に加えて、PTAも主体となったあいさつ運動への取り組みができると、地域一体となったあいさつ運動が広まっていく。	児童	90.8%↓	保護者	80.4%↑	地域住民	91.7%↑	教職員	90.9%→	
児童	90.8%↓											
保護者	80.4%↑											
地域住民	91.7%↑											
教職員	90.9%→											
			A 11 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>86.4%↑</td></tr><tr><td>保護者</td><td>71.8%↓</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>83.3%↓</td></tr><tr><td>教職員</td><td>95.5%↑</td></tr></table> ・普段の生活の中で、全職員で時と場をとらえた指導の継続を図った。児童同士より目上の人に対する言葉づかいが難しいと思われる。職員室に用事があって来た際に戸惑う児童も見られたので、オウム返しのように具体的に指導した。 【次年度の方針】 ・保護者や地域住民の肯定的割合は下がっている。校内では、言語環境への意識を高め、人権尊重の意味も含め実践していく。また、児童に対しては、時と場をとらえた指導を継続していく。	児童	86.4%↑	保護者	71.8%↓	地域住民	83.3%↓	教職員	95.5%↑	
児童	86.4%↑											
保護者	71.8%↓											
地域住民	83.3%↓											
教職員	95.5%↑											

健康・体力	B2 児童は、思いやりの気持ちをもって生活している。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は友達にやさしく、思いやりがある。」 ⇒児童の肯定的回答 90% ⇒教職員の肯定的回答 90%	① 一人一人を大切にする人権教育を推進する。 ・人権感覚・人権尊重の態度の育成を目指した指導の充実 ・教師一人一人の意識の高揚 ・人権週間・いじめゼロ運動の効果的な実施 ② 三あい運動を継続的に実施する。 ・居がいのある学級づくり ・保護者への啓発活動の実施	B2 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>94.8%↑</td></tr><tr><td>保護者</td><td>90.4%↑</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%↑</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%→</td></tr></table> ・教職員は、人権感覚チェックリストを活用して、時々振り返りをしながら人権尊重への意識を高めた。また、全校的には校内人権週間において、ふわふわ言葉や友達のよさの認め合いの奨励を通して思いやりの気持ちの育成を図った。 【次年度の方針】 ・次年度も一人一人を大切にする学級経営を目指し、心に響く道徳の時間の展開、時と場をとらえた児童指導等を継続し、児童の豊かな心づくりに努めたい。	児童	94.8%↑	保護者	90.4%↑	地域住民	100.0%↑	教職員	100.0%→
	児童	94.8%↑									
	保護者	90.4%↑									
地域住民	100.0%↑										
教職員	100.0%→										
A12 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、休み時間や放課後などに積極的に運動している」 ⇒教職員の肯定的回答 90% ⇒児童の肯定的回答 90%	① 児童が進んで運動に取り組むことのできる体育的環境の整備と体を動かす遊びの日常化を図る。 ・竹馬や一輪車などの遊具の整備 ・まごころ広場の活用 ・「みんなで遊ぶ日」の工夫と外遊びの奨励	A12 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>95.6%↓</td></tr><tr><td>保護者</td><td>91.1%↓</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%→</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%↑</td></tr></table> ・休み時間には、多くの児童が校庭やまごころ広場で遊ぶ姿が見られた。また、毎週水曜日の「みんなで遊ぶ日」を活用して、学級や縦割り班でも楽しく体を動かすことができた。 【次年度の方針】 ・今後も業間運動や遊ぶ日の設定など体力作りを無理なく継続していく。さらに下校後や休日などの校外での外遊びの奨励のために、保護者に対し協力を呼びかけていく。	児童	95.6%↓	保護者	91.1%↓	地域住民	100.0%→	教職員	100.0%↑	
児童	95.6%↓										
保護者	91.1%↓										
地域住民	100.0%→										
教職員	100.0%↑										
A13 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「自分は、好き嫌いなく食べている」 ⇒児童の肯定的回答 80% ⇒保護者の肯定的回答 80%	① 食の指導や給食指導の充実 ・朝食をとっていない児童への指導 ・養護教諭、学校栄養士と連携した各教科や特別活動等における食育の実施 ・家庭と連携した食の指導 ② 「すこやか教室」の実施 ・町の先生と連携した食育の指導	A13 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>83.2%↑</td></tr><tr><td>保護者</td><td>77.3%↑</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%→</td></tr><tr><td>教職員</td><td>95.2%↓</td></tr></table> ・食育コーナーの設置や保健給食委員会の活動などの工夫した取り組みにより児童や保護者の食に対する関心が昨年度より高まってきた。 【次年度の方針】 ・給食だよりや保健だよりを通して、食と健康に関する知識の理解と実践力の向上を目指し、継続的に家庭に働きかけていく。 - また、年度初めに養護教諭や栄養士と連携した授業について年間指導計画に位置付けて計画的に実施していく。	児童	83.2%↑	保護者	77.3%↑	地域住民	100.0%→	教職員	95.2%↓	
児童	83.2%↑										
保護者	77.3%↑										
地域住民	100.0%→										
教職員	95.2%↓										

学 習	B3 児童は、自分の健康や体力に関心をもって生活している。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、健康に気を付け、目あてをもって運動している」⇒児童の肯定的回答 80% ⇒保護者の肯定的回答 80%	① 家庭と連携して、健康の保持・増進に努める。 ・健康診断結果の適切な処置 ・手洗い・うがいなどの <u>衛生的な生活習慣の確立</u> ② 体力向上のための工夫・改善に努める。 ・各種検定や全校生で取り組む強化月間の実施 ・体育の授業、体育的行事を核とした体力づくりの実践 ・元気っ子体力テストの活用	B3 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>87.2%↓</td></tr><tr><td>保護者</td><td>72.7%↑</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%→</td></tr><tr><td>教職員</td><td>95.5%↓</td></tr></table> ・衛生的な生活習慣の確立や体力向上のために様々な取り組みをしてきたが、それが関心へとつながりにくいように思われる。 【次年度の方針】 ・取り組みに対して、どういう意味をもっているのか、どういう効果があるのかについて、発達段階に応じて、理解するまで説明を続けていく。また、家庭での指導も重要であるので、学校だより・学年だよりや懇談会等で啓発し、協力を依頼する。	児童	87.2%↓	保護者	72.7%↑	地域住民	100.0%→	教職員	95.5%↓
	児童	87.2%↓									
	保護者	72.7%↑									
地域住民	100.0%→										
教職員	95.5%↓										
A14 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」⇒教職員の肯定的回答 90% ⇒保護者の肯定的回答 90%	① <u>基礎・基本の確実な定着を図る。</u> ・少人数指導、習熟度別学習等の工夫 ・話の聞き方や発表の仕方など徹底 ・「城央小の学習の仕方」に基づいた <u>基本的な学習態度の徹底</u> ② 児童の学習意欲を高め、共に学び合う授業の展開を図る。 ・学習意欲を喚起する工夫 ・共に学び合う学習展開の工夫	B A14 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>88.8%↓</td></tr><tr><td>保護者</td><td>90.1%↓</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%→</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%↑</td></tr></table> ・基礎・基本の確実な定着のために、T・T方式も積極的に取り入れながら学習形態を工夫し学習指導に取り組んだ。 また、研究教科の算数だけでなく他教科においても共に学び合う授業の展開を図った。 【次年度の方針】 ・今後も引き続き指導を重ねるとともに、その様子を各種たよりなどで知らせていくようにする。	児童	88.8%↓	保護者	90.1%↓	地域住民	100.0%→	教職員	100.0%↑	
児童	88.8%↓										
保護者	90.1%↓										
地域住民	100.0%→										
教職員	100.0%↑										
A15 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」⇒教職員の肯定的回答 90% ⇒保護者の肯定的回答 90%	① 学び合いを重視し、「学ぶ楽しさ」と「考えるおもしろさ」を味わわせながら、思考力の育成を図る。 ・話の聞き方や発表の仕方など <u>学習のきまりの掲示物の作成と活用</u> ・話す力・聞く力・学び合う力の向上を目指す授業の工夫 ・共に学び合う学習活動の工夫 ② 「わかる授業」の推進 ・明確な課題の提示と板書等の工夫 ・個に応じた指導 ・教師の自主的、自発的研修の推進	B A15 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>85.2%↑</td></tr><tr><td>保護者</td><td>87.9%↑</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%→</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%↑</td></tr></table> ・4者とも昨年度よりも上回るか同様となったが、保護者においては、数値指標よりも低くなってしまった。話を聞く態度や聴く力も育ってきている。 【次年度の方針】 ・望ましい学習習慣の定着をはかりながら、話す力・聞く力・学び合う力の向上のもとに共に学び合える授業が展開できるように、教員の授業力向上のための研修を重ねながら実践していく。	児童	85.2%↑	保護者	87.9%↑	地域住民	100.0%→	教職員	100.0%↑	
児童	85.2%↑										
保護者	87.9%↑										
地域住民	100.0%→										
教職員	100.0%↑										

本校の特色・課題等	B4 進んで読書に取り組む、読書を楽しんでいる。 【数値指標】 一人当たりの1か月の読書量⇒10冊以上 ⇒児童の肯定的回答 80% ⇒保護者の肯定的回答 70%	① 読書活動の充実を図る。 ・全校一斉、教師と児童の朝の読書の徹底 ・各学年推薦図書20冊選定 ・ボランティアによる読み聞かせの実施 ・月10冊以上に多読者賞の表彰 ・家庭と連携した家読の推進 ・図書室の整備など ・児童の読書と保護者を結び付ける工夫	B4 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>81.2%↓</td></tr><tr><td>保護者</td><td>68.8%↑</td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%→</td></tr></table> ・家庭での読書量は少ないものの、図書だよりや読書の記録ファイルの担任のコメントなどで広報した結果、保護者の肯定的回答が昨年度より上回ったと思われる。それに対し児童の数値が下がってしまったのは、朝の読書タイの回数が減ってしまったことに原因がありそうである。 【次年度の方針】 ・今年度を引き続き、学校での取り組みを知らせる工夫をしていく。また、週2回の読書タイムの確保や必読書の選定の見直し、朝の貸し出しに関する学年・学級優先システム、さらに家読用の記録用紙の配付・回収などに取り組んでいくとさらなる読書量アップが期待できる。	児童	81.2%↓	保護者	68.8%↑	地域住民		教職員	100.0%→
	児童	81.2%↓									
保護者	68.8%↑										
地域住民											
教職員	100.0%→										
B5 学校は、保護者・地域住民との連携を図り、安全で安心な学校づくりに努めている。 【数値指標】 学校独自の評価 ⇒教職員の肯定的回答 90% ⇒保護者の肯定的回答 80% ⇒地域住民の肯定的回答 80%	① 危機管理意識の高揚を図る。 ・定期的な登校・下校指導の実施 ・避難訓練、防犯教室の実施 ・スクールサポーター、防犯ボランティア「まごころサポーター」等との連携	B5 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td>93.0%↓</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%→</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%→</td></tr></table> ・避難訓練や防犯教室は、関係機関との連携を図って計画的に実施し、児童の危機管理意識の高揚を図るよい機会となった。また、「まごころサポーター」や地域の方々が児童の登下校を温かく見守ってくださった。 【次年度の方針】 ・安全で安心な学校づくりのために保護者や地域、関係諸機関との連携を一層深めていきたい。また、学校の取組みを随時発信していく。	児童		保護者	93.0%↓	地域住民	100.0%→	教職員	100.0%→	
児童											
保護者	93.0%↓										
地域住民	100.0%→										
教職員	100.0%→										

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

・児童の学校生活に関する A1 と A5 の項目の肯定的回答の割合が昨年度を上回っており、児童は、明るくいいきと充実した学校生活を送っている様子がわかる。しかし、A3 のきまりやマナーの遵守については、少しずつではあるが年々意識が低くなってきている。この傾向を踏まえ、次年度も、「城央小のよい子」や週目標の確認を徹底し、きまりやマナーを守った落ち着いた生活ができるよう全校体制で指導していく。また、家庭と連携した指導を今後も継続していく。

○家庭学習については、昨年度より保護者の肯定的回答の割合が低い。これは、アンケートにおいて主語が「自分の子どもは」となっていたので、一人一人の児童の家庭での取り組みの様子を回答することになり、全体の傾向を正確に掴むことが難しかった。次年度は対象を「児童は」としたい。家庭学習の取り組みについては家庭の理解・協力が得られるように、学年便りや各種懇談等で、学校で指導していることについて保護者に知らせるなどして関心を高める働きかけをしながら定着を図っていきたい。

○生活面では、あいさつや言葉づかいについて、保護者・地域住民の肯定的回答が昨年度より上回った。これは、学校では、あいさつ運動の継続化や年2回の地域ぐるみのあいさつ運動の実施、また小中合同のあいさつ運動により児童の意識も向上し、よくできるようになってきていると思われる。今後もさらにあいさつの輪を広げていけるよう、引き続き指導していきたい。

・学習面に関するA14とA15の項目を見ると、A14「進んで学習に取り組んでいる」についての児童・保護者の肯定的回答が昨年度をやや下回った。またA15「落ち着いて学習している」については児童・保護者・地域住民・教職員の4者とも昨年度と同様あるいはやや上回っている。これは、教師や友達の話をしっかり聴くことができる児童が多いが、進んで自分の考えを発表することが苦手な児童も見られるということである。来年度も教員一人一人の指導力の向上に努め、基本的な学習態度の育成をはじめとして、学び合える授業・分かる授業の展開により主体的に学習する児童の育成に努めていきたい。

・読書については、「学校や家庭で読書を楽しんでいる」という項目の児童の肯定的回答は昨年度をやや下回ったが、保護者の肯定的回答が10%以上上回った。今後も読書の習慣化のために行っている学校の様々な取り組みを積極的に紹介して、家庭とさらに連携を図って「家読」の推進に努めていきたい。

・次年度も、学校の情報を保護者や地域に積極的に発信したり提供したりして、コミュニケーションを密に取り合いながら、保護者・地域と一体化した開かれた学校づくりを推進し、児童の健全育成を図っていきたい。

6 学校関係者評価

・家庭での学習や外遊びの様子や食生活等については、保護者の立場から考えると「我が子」の様子をもとに評価するので、見方が厳しくなってしまうせいか肯定的回答が低くなる傾向にあるのではないかと。また、家庭学習については、発達段階に応じて保護者がどの程度関わればよいからに伝えていくなど、学校と家庭との連携が必要であると思う

○登校時のあいさつの様子を見ると、学校に来る途中ではまだ不十分である。学校に近づくにつれてできるようになってきている。下校時の方が元気よく言えるような気がする。

○あいさつについては、個人差があるようである。育成会でも月に1回行っているが、全体的に元気がない様子である。

・言葉づかいについては、児童が地域に出ているときは、地域の人からその都度その場で教えていけるようになるとうい。

・持久走カードがあったので強化期間中は、意欲的に取り組んでいた。これからは漢字検定などのような子どもがめあてを持って練習できるような手立てをとってもらえるとありがたい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

☆ 地域に信頼され、地域の核となる学校づくりを推進するために、学校を取り巻く、児童・保護者・地域・教職員の想いを吸い上げ、それらを検討し、次年度も下記のような4つのプロジェクトを組織し、全職員が学校経営に参画できる工夫を行い、次年度の学校ビジョンに反映させる。

